

事業番号	03 12 1	事業改善シート(28年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	■ 点検
事業名	職員研修事業費			担当課	部局	総務部	
					課・局・室	職員キャリア開発センター	
総合5か年計画	プロジェクト			E-mail	career@pref.nagano.lg.jp		
	施策の総合的展開			実施期間	S25 ~		
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針						
	施策展開						

1 事業の概要

目指す姿	長野県人材育成基本方針に基づき、職員の政策力、共感力、発信力を高め、主体的・能動的に考え行動できる職員を育成する。						
現状(予算編成時)	<ul style="list-style-type: none"> 限られたマンパワーで多様化・複雑化する県政課題に対応する必要がある。 意欲と能力を最大限に発揮し県政課題に積極的かつ柔軟に対応できる人材を育成するため、研修制度の充実が求められている。 						
県が関与する理由	県でなければ実施不可(内部管理)	【左記の説明、根拠法令等】 地方公務員法第39条					
成果目標・事業内容	① 成果目標(H28)						
	<p>政策力 政策研究テーマの施策反映割合 → 政策研究による政策提言のうち施策へ反映されたものの割合が平成27年度実績を上回る</p> <p>共感力 民間企業・NPO・福祉施設体験研修による共感力の向上 → 研修後、意識や姿勢の変化に繋げることができた職員が平成27年度実績を上回る</p> <p>発信力 プレゼンテーション能力向上研修によるスキル向上 → 研修後、プレゼン・資料作成等に成果を取り入れることができた職員が平成27年度実績を上回る</p>						
	② 事業内容 (単位:千円)						
	項目	実施方法	H28事業実績		H28	H29	
					(当初)	(決算)	(当初)
	能力開発研修・政策研究	直接	【政策力】政策研究、政策形成 等 【共感力】体験研修、ファンリテーション 等 【発信力】プレゼンテーション、パワーポイント 等		7,043	5,044	5,604
キャリア形成研修	直接	○ 新規採用課程(前・後期) (204人) ○ 西駒郷体験、プレゼンテーション技法、政策形成技法、民間企業・NPO・福祉施設体験 (520人) ○ 女性職員活躍推進		6,301	4,913	5,680	
リーダー養成研修	直接	○ 係長級昇任前(99人) ○ 課長級昇任前(121人) ○ マネジメント力、コーチングスキル、課題解決力修得 ○ 評価者研修		6,029	6,521	5,850	
その他職場等支援・派遣研修等	直接	○ 子育て職員支援、自主企画海外派遣 ○ 長野経済研究所実務セミナー 等		4,063	2,148	4,817	
事務的経費	直接			4,701	4,602	4,940	
		合計		28,137	23,228	26,891	

事業コスト	区分(単位:千円)	27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況							
	予算額	前年度繰越				項目	H26末	H27末	H28			H29目標
		当初予算	25,076	28,137	26,891				目標	成果	達成状況	
		補正予算				政策研究テーマの施策反映割合	30.4%	52.9%	H27実績を上回る	68.7%	達成	H28実績を上回る
		合計(A)	25,076	28,137	26,891	体験研修者の共感力向上	65.8%	70.7%	H27実績を上回る	63.2%	未達成	H28実績を上回る
	Aの財源	一般財源	25,076	28,137	26,883	プレゼン等研修者の発信力向上	92.6%	97.1%	H27実績を上回る	98.1%	達成	H28実績を上回る
		県債										
		国庫支出金										
	その他	0	0	8								
	決算額(B)	21,190	23,228									
概算人件費	職員数(人)	8.00	8.00	8.00								
	概算人件費(C)	66,208	63,312	63,312								
概算事業費(B(A)+C)	91,284	86,540	90,203									

目標に対する成果の状況	<p>政策研究については、テーマアドバイザーと連携して研究生に対し専門的な情報提供を定期的に行うなど、研究に取り組みやすい環境づくりと意欲の向上に努めた。また、各部署の「政策研究窓口担当」と政策提言について調整し、予算化等を円滑に進めたことで、施策反映割合の上昇につながった。</p> <p>企業体験研修については、採用7年目の職員を受講対象者として実施した。実施後のアンケートでは、研修の成果を職場で活用できるとの回答が昨年度を若干下回ったものの、受講者からは概ね良好な回答を得ており、若手職員の共感力の早期修得につながった。</p> <p>プレゼンテーション研修では、受講者のプレゼンテーションに対して個別にフィードバックを行ったことで自身のプレゼンテーションの見直しと改善を促す機会となり、発信力向上につながった。</p>
-------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	<p>引続き、①若手職員の養成を強化するため「共感力」「政策力」「発信力」の早期修得、②自ら選択し、学ぶ「選択型研修」の充実、③人材を育てる「教育力・指導力」の養成、④市町村職員・民間企業等と共に受講できる交流研修の充実の4つの柱を中心に、職員の自律的なキャリア開発を支援し、人材育成を推進していく。</p>